

発行：飯能市社会福祉協議会

開所日：原則、火～金（祝のぞく）

時間：9：15～16：15

令和4年  
11月号  
A Tender Heart  
あしこぼ

## ふくしの森ステーションあがのだより

◆所在地 吾野186番地1（吾野地区行政センター内）

電話：070-7792-2433/FAX：050-3156-2236

メール：station-agano@hannosyakyu.or.jp

※暮らしの困りごと、お気軽に相談ください！担当：梅木・榎戸

## 奥武蔵中生徒会が「手作りうちわ」で吾野園と交流

新型コロナウイルス感染症の拡大後、これまで行われてきた心温まる交流の機会が失われてきました。

そんななか、奥武蔵中学校 生徒会の皆さんが吾野園（特別養護老人ホーム）に入所されている皆さんにメッセージを含めた「手作りうちわ」をお届けしました！

当初は、夏真っ盛りの7月中にお届けに伺う予定でしたが、時を同じくして新型コロナウイルス感染者が急増したこともあり、この時期のお届けすることに。

10月も近くなり、だんだん秋めいてきたころでしたが、残暑厳しいこの時期に温かいメッセージと涼しい風をお届けすることができました。

※生徒会の皆さんは、ほんとうは茶の間参加者さんにもお届けしたかったそうです。



↑うちわを受け渡す生徒会メンバーと加藤理事長（吾野園） ↓手書きのイラストにメッセージをのせて



※今回お届けしたうちわは、皆様からお寄せいただいた「赤い羽根共同募金」を財源に作成されました。



赤い羽根  
共同募金

10月1日▶12月31日

本年度も、皆さまの温かいご協力を心よりお待ちしております。

## 災害義援金受付中

埼玉県共同募金会飯能市支会では、今夏、東北地方を中心に発生した大雨災害をはじめ、各地の大規模災害に対する災害義援金を受付けています。お寄せいただいた義援金は被災市町村を通じて被災者に配分されます。

◆詳しくは右記QRコードからホームページをご覧ください。⇒ 皆様の温かいお心遣いをお待ちしております。



# 地域ふくし発見!

地域福祉に関する素敵な取組みをふくしの森ステーションのCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が取材・発信していきます。

## 「にちにちのはらの“自然感覚体験保育園”」

乳幼児期の子どもたちは、全身が感覚器官だと言われています。土・水・火・風・空を感じながら、小さな生き物や植物たち、四季折々の自然と近しく触れ合い、自分の体で外界と出会っていくことは子どもにとって喜びです。日々変化する自然の多様性の中に身を置き、内側から好奇心や意欲がわき出て集中して遊びこんだり、友だちとのびのび交わえるような体になっていくことを見守ります。

大人の社会の雑多な出来事から愛情の覆いで守られ、早起き早寝ですくすく元気に！どの子ども自分らしくそのまんまを喜ばれながら日々を遊びきる、にちにちのはらの子どもの世界を、お父ちゃんお母ちゃんたちと学び、悩み、笑い合いながら支えていきたいと思っています。

## 「にちにちのはらの“フリースクール”」

山を歩いたり、川で泳いだり、釣りしたり…。

春の野草を摘んで天ぷらにして食べたり、秋の栗を拾って、火をおこしてゆでて小さい子たちと分け合ったり…。

自然の移り変わりを肌で感じながら、その恵みの中で、遊び、学び、暮らす。体を動かして元気な自分を感じたら、目の前の「越えられそうもない壁」が案外なんとかなりそうと思えてきたり、いつのまにか気にならなくなったり、自分のペースをつかめてきたりする中で、自分でいいんだと感ぜられるように、その子らしくいられることを応援しています。

## 「にちにちのはらの」の情報

- 【施設名】 にちにちのはら
  - 【住所】 〒357-0066 飯能市小岩井603
  - 【プレーパーク】 毎月第3日曜日10時～15時
  - 【認可外保育園】 月～金 8時半～16時
  - 【フリースクール】 月～金 8時半～16時
- 詳しくはHPをご覧ください

<https://nichinichinohara.com>

【問い合わせ】 ☎090-1434-1453

(代表：姫野千鶴子)

✉2121nohara@gmail.com

※メールのお返事は数日かかる場合もあります

## 独占インタビュー

# 「にちにちのはら」

聞き手：CSW小林(愛)

今回ご紹介するのは自然や人とのふれあい、体験が育てるしなやかな体と愛情に包まれた暮らしをモットーとする認可外保育園・フリースクール・子育て支援の場の「にちにちのはら」さんです。広い野原の園庭の中で、お話を伺ってきました。



## “もっと子どもの居場所を増やしたい” CSWは子どもの居場所づくりに協力します

放課後、遊びに行く場所が無い子ども。学校以外の行く場所が欲しい子ども。今、子どもの居場所は子どもに必要とされています。子どもにとって居心地のいい場所は、地域にとっても居心地のいいものかもしれません。

子どもの居場所に関する相談や情報があれば是非、お近くのふくしの森ステーションにお声掛けください。